

国民健康保険特別会計（事業勘定）

国民健康保険特別会計（事業勘定）は、国民健康保険の保険給付等を行うため設置されている特別会計である。

1 決算規模

①能代市

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	5,498,736,000	4,232,180,911	4,513,384,114	-281,203,203	77.0	82.1
16年度	5,022,335,000	4,972,863,363	4,827,356,541	145,506,822	99.0	96.1
比較増減	476,401,000	-740,682,452	-313,972,427	-426,710,025	-22.0	-14.0
増減率	9.5	-14.9	-6.5	-293.3	—	—

①能代市は平成18年3月20日までの打ち切り決算である。

歳入歳出差引額は281,203,203円の赤字で、一般会計からの繰替使用281,203,203円で賄っている。

②二ツ井町

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	1,331,901,000	1,097,294,902	1,161,006,559	-63,711,657	82.4	87.2
16年度	1,417,322,000	1,374,937,477	1,230,298,653	144,638,824	97.0	86.8
比較増減	-85,421,000	-277,642,575	-69,292,094	-208,350,481	-14.6	0.4
増減率	-6.0	-20.2	-5.6	-144.0	—	—

②二ツ井町は平成18年3月20日までの打ち切り決算である。

歳入歳出差引額は63,711,657円の赤字で、一般会計からの繰替使用63,711,657円で賄っている。

③新市

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	1,776,311,000	1,568,010,334	1,105,345,966	462,664,368	88.3	62.2

③新市は、平成17年度における合併後の11日間の決算である。

歳入歳出差引額は462,664,368円で、一般会計からの繰替使用された能代市分281,203,203円と二ツ井町分63,711,657円の計344,914,860円は、平成17年度出納閉鎖までに一般会計へ全額返済されている。

④ 通年推計（参考）

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	6,861,362,673	6,897,486,147	6,434,821,779	462,664,368	100.5	93.8
16年度	6,439,657,000	6,347,800,840	6,057,655,194	290,145,646	98.6	94.1
比較増減	421,705,673	549,685,307	377,166,585	172,518,722	1.9	-0.3
増減率	6.5	8.7	6.2	59.5	—	—

④通年推計は、監査委員が独自に通年ベースの数値を推計したものである。

当年度の決算額は、歳入6,897,486,147円、歳出6,434,821,779円であり、歳入歳出差引額が462,664,368円となっている。前年度と比較して歳入で549,685,307円(8.7%)、歳出で377,166,585円(6.2%)、それぞれ増となっている。

2 予算の執行状況

ここでは、合併前・合併後に分離せず、通年ベースで推計した数値のみ記載している。

なお、予算現額は、別々に推計していることから歳入と歳出が一致しない場合がある。

① 歳入

（単位：円、％）

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
国民健康保険税	1,702,886,395	2,126,944,748	1,670,311,887	33,024,789	423,749,572	79.8
使用料及び手数料	1,155,400	830,300	830,300	0	0	100.0
国庫支出金	2,207,694,182	2,253,445,792	2,253,445,792	0	0	100.0
療養給付費等交付金	1,790,795,607	1,594,022,607	1,594,022,607	0	0	100.0
県支出金	254,039,642	259,382,865	259,382,865	0	0	—
共同事業交付金	145,877,154	145,877,154	145,877,154	0	0	100.0
財産収入	17,921	17,921	17,921	0	0	100.0
繰入金	697,883,892	668,216,839	668,216,839	0	0	100.0
繰越金	290,145,646	290,145,646	290,145,646	0	0	100.0
諸収入	15,290,974	16,357,450	15,235,136	23,987	1,098,327	93.3
歳入合計	7,105,786,813	7,355,241,322	6,897,486,147	33,048,776	424,847,899	94.2

※ 国民健康保険税の収入済額には、還付未済額141,500円が含まれている。

国民健康保険税の収入済額は1,670,311,887円で、前年度と比較して66,406,610円(4.1%)の増となっている。国民健康保険税の収入済額には、還付未済額141,500円が含まれている。

国庫支出金の収入済額は2,253,445,792円で、前年度と比較して27,702,413円(1.2%)の増となっている。このうち財政調整交付金等の一部が当年度から県支出金へ移行している。

療養給付費等交付金の収入済額は1,594,022,607円で、前年度と比較して199,164,708円(14.3%)の増となっている。

県支出金の収入済額は259,382,865円で、前年度と比較し218,381,259円(532.6%)増となっており、この主な要因は、国の財政調整交付金等の一部が県へ移行したことによるものである。

共同事業交付金の収入済額は145,877,154円で、これは高額医療費共同事業交付金である。

繰入金の収入済額は668,216,839円で、前年度と比較して197,092,892円(41.8%)の増である。この主な要因は、財政調整基金繰入金が増加したことによるものである。

繰越金の収入済額は290,145,646円で、前年度繰越金である。

諸収入の収入済額は15,235,136円で、前年度と比較して11,333,967円(290.5%)の増となっている。この主な要因は、第三者納付金の増加によるものである。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	42,278,353	41,421,202	0	857,151	98.0
保 険 給 付 費	4,830,572,934	4,589,189,324	0	241,383,610	95.0
老人保健拠出金	1,218,537,639	1,218,537,639	0	0	100.0
介 護 納 付 金	405,097,964	405,097,964	0	0	100.0
共 同 事 業 拠 出 金	122,885,688	122,885,688	0	0	100.0
保 健 事 業 費	27,251,762	23,466,746	0	3,785,016	86.1
基 金 積 立 金	20,033	18,033	0	2,000	90.0
公 債 費	309,000	0	0	309,000	0.0
諸 支 出 金	35,450,300	34,205,183	0	1,245,117	96.5
予 備 費	178,959,000	0	0	178,959,000	0.0
歳 出 合 計	6,861,362,673	6,434,821,779	0	426,540,894	93.8

総務費の支出済額は41,421,202円で、前年度と比較して7,245,643円(21.2%)の増となっている。この主な要因は、被保険者証のカード化及び合併時の被保険者証更新などの経費が発生したことによるものである。

保険給付費の支出済額は4,589,189,324円で、前年度と比較して392,486,773円(9.4%)の増となっている。

老人保健拠出金の支出済額は1,218,537,639円で、前年度と比較して67,511,718円(5.2%)の減となっている。

介護納付金の支出済額は405,097,964円で、前年度と比較して47,771,738円(13.4%)の増となっている。これは、40～64歳の介護保険第2号被保険者に対する介護納付金である。

共同事業拠出金の支出済額は122,885,688円で、前年度と比較して14,828,606円(13.7%)の増となっている。これは、高額医療費共同事業に対する拠出金である。

保健事業費の支出済額は23,466,746円で、前年度と比較して2,734,746円(10.4%)の減となっている。

諸支出金の支出済額は34,205,183円で、前年度と比較して14,870,198円(30.3%)の減となっている。なお、新市の諸支出金の中で、支出済額347,553,743円のうち、旧市町借入金返済金344,914,860円については、通年ベースで推計した場合、重複したものとして差し引いて計算しているため、本表には表していない。

予備費は、能代市において7件、1,109,900円、二ツ井町において6件、2,318,441円充用されている。この主な内容は、能代市では保険税還付金、二ツ井町では療養費等が不足したことによるものである。

3 国民健康保険税の状況

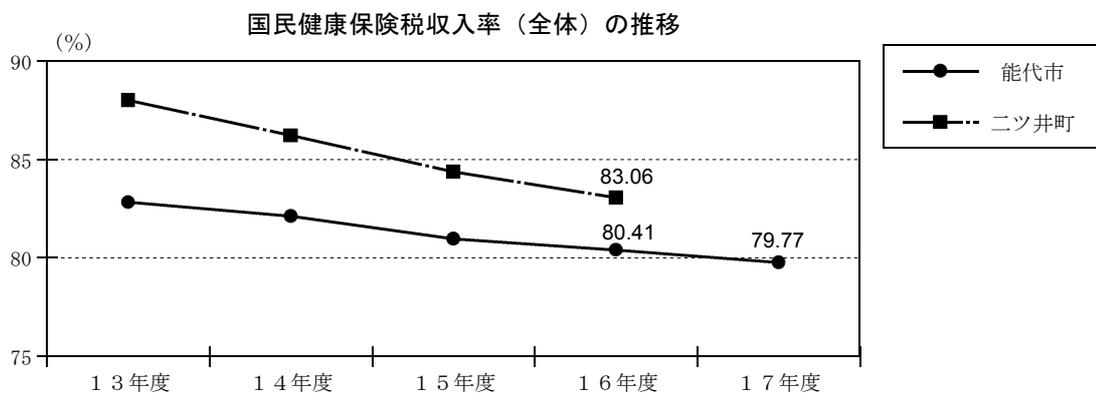
①収入済額の推移

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
能代市	1,273,379,764	1,288,170,849	1,256,267,157	1,287,213,996	1,670,311,887
二ツ井町	319,150,184	342,867,746	330,474,935	316,691,281	
計	1,592,529,948	1,631,038,595	1,586,742,092	1,603,905,277	1,670,311,887
前年度比較	—	38,508,647	-44,296,503	17,163,185	66,406,610
増減率	—	2.4	-2.7	1.1	4.1

※平成17年度には、還付未済額141,500円が含まれている。

②収入率の推移

区 分		1 3 年度	1 4 年度	1 5 年度	1 6 年度	1 7 年度	
一 般	現年課税	能 代 市	92.15	92.25	92.35	92.50	92.33
		二ツ井町	94.63	94.00	94.39	94.60	
	滞納繰越	能 代 市	16.54	12.61	10.76	10.02	8.89
		二ツ井町	13.22	10.44	12.11	10.38	
退 職	現年課税	能 代 市	98.30	98.40	98.41	98.47	98.14
		二ツ井町	99.20	98.54	98.01	97.64	
	滞納繰越	能 代 市	26.78	20.76	12.70	17.39	15.13
		二ツ井町	47.03	12.56	28.97	12.41	
全 体	能 代 市	82.83	82.12	80.97	80.41	79.77	
	二ツ井町	88.01	86.22	84.38	83.06		



③収入未済額の推移

区 分	1 3 年度	1 4 年度	1 5 年度	1 6 年度	1 7 年度
能 代 市	264,015,386	280,453,195	295,232,850	313,564,927	423,749,572
二ツ井町	43,703,304	54,802,844	61,110,540	64,568,438	
計	307,718,690	335,256,039	356,343,390	378,133,365	423,749,572
前年度比較	—	27,537,349	21,087,351	21,789,975	45,616,207
増 減 率	—	8.9	6.3	6.1	12.1

④不納欠損額の推移

区 分	1 3 年度	1 4 年度	1 5 年度	1 6 年度	1 7 年度
能 代 市	46,888,168	44,469,642	44,247,188	39,030,927	33,024,789
二ツ井町	3,531,690	3,268,592	3,835,569	6,456,021	
計	50,419,858	47,738,234	48,082,757	45,486,948	33,024,789
前年度比較	—	-2,681,624	344,523	-2,595,809	-12,462,159
増 減 率	—	-5.3	0.7	-5.4	-27.4

⑤減免の状況

(単位：円、%)

年 度	件 数	金 額
1 7 年度	137	7,713,600
1 6 年度	98	4,883,700
比較増減	39	2,829,900
増 減 率	39.8	57.9

4 保険給付費等の状況

①保険給付費の推移

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
能代市	2,838,749,111	2,618,776,901	3,131,049,118	3,339,757,853	4,589,189,324
二ツ井町	708,930,407	667,380,059	815,549,533	856,944,698	
計	3,547,679,518	3,286,156,960	3,946,598,651	4,196,702,551	4,589,189,324
前年度比較	—	-261,522,558	660,441,691	250,103,900	392,486,773
増減率	—	-7.4	20.1	6.3	9.4

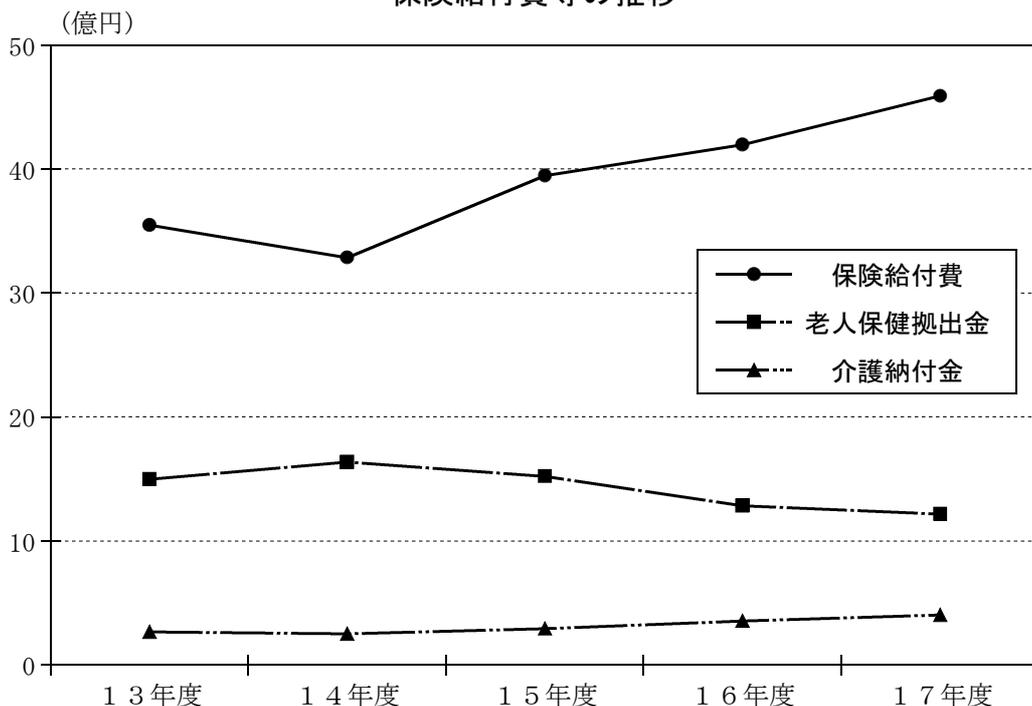
②老人保健拠出金の推移

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
能代市	1,173,225,173	1,288,489,219	1,218,793,345	1,061,936,493	1,218,537,639
二ツ井町	326,200,848	349,778,255	304,268,865	224,112,864	
計	1,499,426,021	1,638,267,474	1,523,062,210	1,286,049,357	1,218,537,639
前年度比較	—	138,841,453	-115,205,264	-237,012,853	-67,511,718
増減率	—	9.3	-7.0	-15.6	-5.2

③介護納付金の推移

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
能代市	217,506,900	206,072,531	240,685,151	294,321,695	405,097,964
二ツ井町	51,199,075	47,279,207	54,806,358	63,004,531	
計	268,705,975	253,351,738	295,491,509	357,326,226	405,097,964
前年度比較	—	-15,354,237	42,139,771	61,834,717	47,771,738
増減率	—	-5.7	16.6	20.9	13.4

保険給付費等の推移



国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）は、二ツ井地域にある富根診療所を経営し、医療を提供するための特別会計である。

1 決算規模

①二ツ井町

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	78,032,000	67,291,357	68,137,495	-846,138	86.2	87.3
16年度	76,941,000	75,509,119	72,798,011	2,711,108	98.1	94.6
比較増減	1,091,000	-8,217,762	-4,660,516	-3,557,246	-11.9	-7.3
増減率	1.4	-10.9	-6.4	-131.2	—	—

①二ツ井町は、平成18年3月20日までの打ち切り決算である。

歳入歳出差引額は846,138円の赤字で、一般会計からの繰替使用846,138円で賄っている。

②新市

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	10,533,000	9,631,449	3,720,937	5,910,512	91.4	35.3

②新市は、平成17年度における合併後の11日間の決算である。

歳入歳出差引額は5,910,512円で、二ツ井町における一般会計からの繰替使用846,138円は平成17年度出納閉鎖までに一般会計へ全額返済されている。

③通年推計（参考）

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	77,141,595	76,922,806	71,012,294	5,910,512	99.7	92.1
16年度	76,941,000	75,509,119	72,798,011	2,711,108	98.1	94.6
比較増減	200,595	1,413,687	-1,785,717	3,199,404	1.6	-2.5
増減率	0.3	1.9	-2.5	118.0	—	—

③通年推計は、監査委員が独自に通年ベースの数値を推計したものである。

当年度の決算額は、歳入76,922,806円、歳出71,012,294円、歳入歳出差引額5,910,512円となっている。前年度と比較して歳入で1,413,687円(1.9%)の増、歳出で1,785,717円(2.5%)の減となっている。歳入歳出差引額は5,910,512円で、前年度と比較して3,199,404円(118.0%)の増となっている。

2 予算の執行状況

ここでは、合併前・合併後に分離せず、通年ベースで推計した数値のみ記載している。なお、予算現額は、別々に推計していることから歳入と歳出が一致しない場合がある。

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
診 療 収 入	48,681,431	47,779,350	47,779,350	0	0	100.0
使用料及び手数料	21,630	22,660	22,660	0	0	100.0
財 産 収 入	1,094	94	94	0	0	100.0
繰 入 金	26,363,000	26,363,000	26,363,000	0	0	100.0
繰 越 金	2,711,108	2,711,108	2,711,108	0	0	—
諸 収 入	46,094	46,594	46,594	0	0	100.0
歳 入 合 計	77,824,357	76,922,806	76,922,806	0	0	100.0

診療収入の収入済額は47,779,350円で、前年度と比較して2,703,791円(5.4%)の減となっている。この主な要因は、外来収入の減によるものである。

繰入金の収入済額は26,363,000円で、前年度と比較して4,611,000円(21.2%)の増となっている。この主な内容は、国民健康保険事業勘定特別会計繰入金である。この繰入金は、赤字補てん的なものであり、当年度の収支状況により変動するので、平成17年度までは国民健康保険事業勘定特別会計からの繰り入れとなっていたが、平成18年度からは事業勘定と診療施設勘定を一つの特別会計としていること、診療所の赤字補てんの財源として事業勘定の医療給付のための財源を充てるべきではないとの判断があったことなどから、一般会計繰入金としている。

繰越金の収入済額は2,711,108円で、前年度繰越金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	47,283,961	46,939,611	0	344,350	99.3
医 業 費	26,582,534	24,071,683	0	2,510,851	90.6
財政調整積立金	1,000	1,000	0	0	100.0
公 債 費	25,000	0	0	25,000	0.0
予 備 費	3,249,100	0	0	3,249,100	0.0
歳 出 合 計	77,141,595	71,012,294	0	6,129,301	92.1

総務費の支出済額は46,939,611円で、前年度と比較して656,052円(1.4%)の減となっている。この主な内容は、医師及びパート職員の人件費ほか、診療所運営のための事務費である。

医業費の支出済額は24,071,683円で、前年度と比較して1,129,276円(4.5%)の減で、この主な内容は医薬材料である。

なお、諸支出金については、新市おける支出済額が846,138円となっているが、これは他会計借入金返済金で、合併時の一時借入金の返済であり、通年ベースで推計した場合、重複したもものとして差し引かれるため、本表には表していない。

予備費は1件で、総務費の備品購入費に電子レジスター購入のため、81,900円充用されている。

老人保健医療特別会計

老人保健医療特別会計は、老人医療費の支払いを行うため設置された特別会計である。

1 決算規模

①能代市

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	6,123,288,000	5,202,228,214	5,191,494,058	10,734,156	85.0	84.8
16年度	6,254,427,000	6,105,233,022	6,133,161,624	-27,928,602	97.6	98.1
比較増減	-131,139,000	-903,004,808	-941,667,566	38,662,758	-12.6	-13.3
増減率	-2.1	-14.8	-15.4	-138.4	—	—

①能代市は平成18年3月20日までの打ち切り決算で、歳入歳出差引額は10,734,156円であり、同額が歳計剰余金として新市に引き継がれている。

②二ツ井町

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	1,637,585,000	1,451,640,617	1,425,801,861	25,838,756	88.6	87.1
16年度	1,692,057,000	1,629,325,269	1,610,653,643	18,671,626	96.3	95.2
比較増減	-54,472,000	-177,684,652	-184,851,782	7,167,130	-7.7	-8.1
増減率	-3.2	-10.9	-11.5	38.4	—	—

②二ツ井町は平成18年3月20日までの打ち切り決算で、歳入歳出差引額は25,838,756円であり、同額が歳計剰余金として新市に引き継がれている。

③新市

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	1,138,393,000	977,693,311	1,053,103,338	-75,410,027	85.9	92.5

③新市は、平成17年度における合併後の11日間の決算である。

歳入歳出差引額は75,410,027円の赤字で、翌年度歳入繰上充用金で賄われている。

なお、歳入には、旧市町歳計剰余金として能代市分10,734,156円、二ツ井町分25,838,756円、計36,572,912円が含まれている。

④通年推計（参考）

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	7,755,688,919	7,594,989,230	7,670,399,257	-75,410,027	97.9	98.9
16年度	7,946,484,000	7,734,558,291	7,743,815,267	-9,256,976	97.3	97.4
比較増減	-190,795,081	-139,569,061	-73,416,010	-66,153,051	0.6	1.5
増減率	-2.4	-1.8	-0.9	-714.6	—	—

④通年推計は、監査委員が独自に通年ベースの数値を推計したものである。

当年度の決算額は、歳入7,594,989,230円、歳出7,670,399,257円であり、歳入歳出差引額が75,410,027円の赤字となっている。前年度と比較して歳入で139,569,061円(1.8%)、歳出で73,416,010円(0.9%)それぞれ減となっている。

2 予算の執行状況

ここでは、合併前・合併後に分離せず、通年ベースで推計した数値のみ記載している。
なお、予算現額は、別々に推計していることから歳入と歳出が一致しない場合がある。

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
支 払 基 金 交 付 金	4,406,453,311	4,385,560,311	4,385,560,311	0	0	100.0
国 庫 支 出 金	2,239,674,213	2,102,195,213	2,102,195,213	0	0	100.0
県 支 出 金	547,390,000	530,676,915	530,676,915	0	0	100.0
繰 入 金	558,246,000	548,600,484	548,600,484	0	0	100.0
繰 越 金	18,671,626	18,671,626	18,671,626	0	0	100.0
諸 収 入	9,284,681	9,284,681	9,284,681	0	0	100.0
歳 入 合 計	7,779,719,831	7,594,989,230	7,594,989,230	0	0	100.0

支払基金交付金の収入済額は4,385,560,311円で、前年度と比較して358,197,975円(7.6%)の減、国庫支出金の収入済額は2,102,195,213円で、前年度と比較して146,825,815円(7.5%)の増、県支出金の収入済額は530,676,915円で、前年度と比較して30,589,141円(6.1%)の増繰入金収入済額は548,600,484円で、前年度と比較して38,503,581円(7.5%)の増となっている。これらの増減は、医療費の動向以上に、老人医療費に対する公費負担割合の段階的引き上げの影響が大きく、国、県、市の公費負担が増加し、支払基金の負担が減少している。

諸収入の収入済額は9,284,681円で、前年度と比較して294,899円(3.3%)の増となっている。なお、新市では、諸収入の収入済額が旧市町歳計剰余金のみ36,572,912円となっているが、通年で推計した場合、重複した数値として差し引くため本表にはその分を表していない。

当年度の歳入歳出差引額は75,410,027円の赤字であり、同額の歳入が不足するため、翌年度から繰上充用している。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	12,577,843	12,239,579	0	338,264	97.3
医 療 諸 費	7,691,826,377	7,606,874,979	0	84,951,398	98.9
諸 支 出 金	23,356,097	23,356,097	0	0	100.0
前年度繰上充用金	27,928,602	27,928,602	0	0	100.0
歳 出 合 計	7,755,688,919	7,670,399,257	0	85,289,662	98.9

総務費の支出済額は12,239,579円で、前年度と比較して498,323円(3.9%)の減である。

医療諸費の支出済額は7,606,874,979円で、前年度と比較して65,562,164円(0.9%)の減となっている。老人医療費は、平成14年度からの対象年齢の段階的引き上げなどにより、少しずつではあるが、ここ数年減少傾向にある。

諸支出金の支出済額は23,356,097円で、これは前年度医療費確定による支払基金交付金等の精算返還金である。

前年度繰上充用金の支出済額は27,928,602円で、これは前年度の歳入歳出差引歳入不足額に対する繰上充用金である。

介護保険特別会計（保険事業勘定）

介護保険特別会計（保険事業勘定）は、介護保険の保険給付等を行うため設置された特別会計である。

1 決算規模

①能代市

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	3,610,675,000	2,982,000,548	2,959,548,927	22,451,621	82.6	82.0
16年度	3,386,779,000	3,405,031,328	3,323,592,239	81,439,089	100.5	98.1
比較増減	223,896,000	-423,030,780	-364,043,312	-58,987,468	-17.9	-16.1
増減率	6.6	-12.4	-11.0	-72.4	—	—

①能代市は平成18年3月20日までの打ち切り決算で、歳入歳出差引額は22,451,621円であり、同額が歳計剰余金として新市に引き継がれている。

②二ツ井町

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	1,017,320,000	720,276,450	829,824,871	-109,548,421	70.8	81.6
16年度	944,440,000	944,993,482	932,941,653	12,051,829	100.1	98.8
比較増減	72,880,000	-224,717,032	-103,116,782	-121,600,250	-29.3	-17.2
増減率	7.7	-23.8	-11.1	-1,009.0	—	—

②二ツ井町は、平成18年3月20日までの打ち切り決算である。
歳入歳出差引額は109,548,421円の赤字で、一般会計からの繰替使用109,548,421円で賅っている。

③新市

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	948,416,000	972,614,536	837,392,244	135,222,292	102.6	88.3

③新市は、平成17年度における合併後の11日間の決算である。
歳入歳出差引額は135,222,292円で、歳入には能代市からの歳計剰余金22,451,621円が含まれ、歳出では二ツ井町における一般会計からの繰替使用109,548,421円が平成17年度出納閉鎖までに一般会計へ全額返済されている。

④ 通年推計（参考）

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	4,627,401,798	4,652,439,913	4,517,217,621	135,222,292	100.5	97.6
16年度	4,331,219,000	4,350,024,810	4,256,533,892	93,490,918	100.4	98.3
比較増減	296,182,798	302,415,103	260,683,729	41,731,374	0.1	-0.7
増減率	6.8	7.0	6.1	44.6	—	—

④通年推計は、監査委員が独自に通年ベースの数値を推計したものである。

当年度の決算額は、歳入4,652,439,913円、歳出4,517,217,621円であり、歳入歳出差引額が135,222,292円の黒字となっている。前年度と比較して歳入で302,415,103円（7.0％）、歳出で260,683,729円（6.1％）、それぞれ増となっている。

2 予算の執行状況

ここでは、合併前・合併後に分離せず、通年ベースで推計した数値のみ記載している。なお、予算現額は、別々に推計していることから歳入と歳出が一致しない場合がある。

① 歳入

（単位：円、％）

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
保 険 料	689,163,600	711,537,200	685,959,200	5,870,400	19,707,600	97.2
使用料及び手数料	243,400	230,300	230,300	0	0	100.0
国 庫 支 出 金	1,149,265,000	1,189,686,894	1,189,686,894	0	0	100.0
支 払 基 金 交 付 金	1,446,198,495	1,447,114,495	1,447,114,495	0	0	100.0
県 支 出 金	558,735,000	558,685,559	558,685,559	0	0	100.0
財 産 収 入	10,973	10,993	10,993	0	0	100.0
繰 入 金	694,938,000	677,072,590	677,072,590	0	0	100.0
繰 越 金	93,490,918	93,490,918	93,490,918	0	0	—
諸 収 入	130,000	188,964	188,964	0	0	—
市（町）債	1,000	0	0	0	0	—
歳 入 合 計	4,632,176,386	4,678,017,913	4,652,439,913	5,870,400	19,707,600	99.6

保険料の収入済額は685,959,200円で、前年度と比較して623,500円（0.1％）の増である。

国庫支出金の収入済額は1,189,686,894円で、前年度と比較して85,693,181円（7.8％）の増となっている。この主な内容は、国庫負担金及び普通調整交付金である。

支払基金交付金の収入済額は1,447,114,495円で、前年度と比較し130,931,558円（9.9％）の増となっている。

県支出金の収入済額は558,685,559円で、前年度と比較して32,975,559円（6.3％）の増となっている。

繰入金の収入済額は677,072,590円で、前年度と比較して20,853,735円（3.2％）の増であり、この主な内容は一般会計繰入金及び基金繰入金である。

繰越金の収入済額は93,490,918円で、前年度繰越金である。

諸収入の収入済額は188,964円で、この主な内容は第1号被保険者延滞金である。なお、新市の諸収入には、能代市の歳計剰余金22,451,621円が含まれているが、通年ベースで推計した場合、重複したものとして差し引かれるため、本表には表していない。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	87,873,393	84,840,621	0	3,032,772	96.5
保 険 給 付 費	4,497,239,736	4,392,466,935	0	104,772,801	97.7
財政安定化基金拠出金	4,001,701	4,001,701	0	0	100.0
基 金 積 立 金	9,481,784	9,481,784	0	0	100.0
公 債 費	206,000	0	0	206,000	0.0
諸 支 出 金	26,599,184	26,426,580	0	172,604	99.4
予 備 費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0
歳 出 合 計	4,627,401,798	4,517,217,621	0	110,184,177	97.6

総務費の支出済額は84,840,621円で、前年度と比較して1,927,042円(2.2%)の減である。

保険給付費の支出済額は4,392,466,935円で、前年度と比較して260,574,926円(6.3%)の増となっている。

財政安定化基金拠出金の支出済額は4,001,701円で、秋田県介護保険財政安定化基金への拠出金である。

基金積立金の支出済額は9,481,784円で、前年度と比較して10,557,618円(52.7%)の減である。これは、介護給付費準備基金への積立金である。

諸支出金の支出済額は26,426,580円で、前年度と比較して12,593,464円(91.0%)の増となっている。なお、新市の諸支出金には、他会計借入金返済金109,548,421円が含まれているが、通年ベースで推計した場合、重複したものとして差し引かれるため、本表では表していない。

3 保険料と保険給付費の推移

①介護保険料の推移

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
能代市	327,103,100	443,942,200	533,061,500	537,240,800	685,959,200
二ツ井町	90,859,500	121,869,600	145,676,800	148,094,900	
計	417,962,600	565,811,800	678,738,300	685,335,700	685,959,200
前年度比較	—	147,849,200	112,926,500	6,597,400	623,500
増減率	—	35.4	20.0	1.0	0.1

②保険給付費の推移

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
能代市	2,303,407,017	2,647,456,563	2,925,109,858	3,263,567,535	4,392,466,935
二ツ井町	676,410,327	725,205,949	736,699,644	868,324,474	
計	2,979,817,344	3,372,662,512	3,661,809,502	4,131,892,009	4,392,466,935
前年度比較	—	392,845,168	289,146,990	470,082,507	260,574,926
増減率	—	13.2	8.6	12.8	6.3

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）は、能代地域にあるデイサービスセンター及グループホームを運営するための特別会計である。

1 決算規模

①能代市

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	207,127,000	151,835,966	193,464,585	-41,628,619	73.3	93.4
16年度	208,380,000	203,260,276	203,260,276	0	97.5	97.5
比較増減	-1,253,000	-51,424,310	-9,795,691	-41,628,619	-24.2	-4.1
増減率	-0.6	-25.3	-4.8	皆減	—	—

①能代市は、平成18年3月20日までの打ち切り決算である。

歳入歳出差引額は41,628,619円の赤字で、一般会計からの繰替使用41,628,619円で賄っている。

②新市

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	54,288,000	52,341,196	52,341,196	0	96.4	96.4

②新市は、平成17年度における合併後の11日間の決算である。

歳入歳出同額で、能代市における一般会計からの繰替使用41,628,619円は平成17年度出納閉鎖までに一般会計へ全額返済されている。

③通年推計（参考）

（単位：円、％）

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	205,900,585	204,177,162	204,177,162	0	99.2	99.2
16年度	208,380,000	203,260,276	203,260,276	0	97.5	97.5
比較増減	-2,479,415	916,886	916,886	0	1.7	1.7
増減率	-1.2	0.5	0.5	—	—	—

③通年推計は、監査委員が独自に通年ベースの数値を推計したものである。

当年度の決算額は、歳入204,177,162円、歳出204,177,162円と同額となっている。前年度と比較して歳入及び歳出ともに916,886円(0.5%)の増となっている。

2 予算の執行状況

ここでは、合併前・合併後に分離せず、通年ベースで推計した数値のみ記載している。

なお、予算現額は、別々に推計していることから歳入と歳出が一致しない場合がある。

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
サービス収入	198,317,577	191,170,389	191,170,389	0	0	100.0
繰入金	7,567,000	7,290,662	7,290,662	0	0	100.0
諸収入	239,389	5,716,111	5,716,111	0	0	100.0
歳入合計	206,123,966	204,177,162	204,177,162	0	0	100.0

サービス収入の収入済額は191,170,389円で、前年度と比較して1,829,645円(0.9%)の減となっている。この主な内容は、デイサービスセンター及びグループホームの介護報酬と自己負担金収入である。

繰入金の収入済額は7,290,662円で、前年度と比較して2,969,580円(28.9%)の減であり、これは一般会計繰入金である。

諸収入の収入済額が5,716,111円で、前年度と比較して皆増である。この主な内容は、デイサービスセンター及びグループホームの管理運営委託料清算金である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
サービス事業費	194,682,585	194,497,603	0	184,982	99.9
諸支出金	10,218,000	9,679,559	0	538,441	94.7
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
歳出合計	205,900,585	204,177,162	0	1,723,423	99.2

サービス事業費の支出済額は194,497,603円で、前年度と比較して2,120,438円(1.1%)の減となっている。この主な内容は、デイサービスセンター及びグループホームの管理運営委託料である。

諸支出金の支出済額は9,679,559円で、前年度比較して3,037,721円(45.7%)の増となっている。この主な内容は、一般会計繰出金である。なお、新市の諸支出金は41,628,619円であるが、これは他会計借入金返済金であり、年ベースで推計した場合、重複したものとして差し引かれるため、本表には表していない。

予備費の当初予算額は1,000,000円で、充用実績はない。

鶴形簡易水道事業特別会計

鶴形簡易水道事業特別会計は、能代地域の鶴形地区へ水道を供給するための特別会計である。この会計は、今後も事業を継続するものの、平成18年度から公営企業法を適用するため、いったん特別会計を廃止し、平成18年3月31日で打ち切り決算となっている。平成18年4月1日からは、水道事業会計に一本化されており、打ち切り決算時の剰余金等は水道事業会計に引き継がれている。

1 決算規模

①能代市

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	129,243,000	97,612,365	36,714,529	60,897,836	75.5	28.4
16年度	6,768,000	6,940,055	5,504,000	1,436,055	102.5	81.3
比較増減	122,475,000	90,672,310	31,210,529	59,461,781	-27.0	-52.9
増減率	1,809.6	1,306.5	567.1	4,140.6	—	—

①能代市は、平成18年3月20日までの打ち切り決算である。

歳入歳出差引額は60,897,836円で、同額が歳計剰余金として新市に引き継がれている。

②新市

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	92,425,000	92,581,170	89,917,448	2,663,722	100.2	97.3

②新市は、平成17年度における合併後の11日間の決算である。

能代市の打ち切り決算で発生した歳計剰余金60,897,836円は、旧市町歳計剰余金として新市の歳入に含まれている。

新市の歳入歳出差引額は2,663,722円で、前述のとおり、出納整理期間がなく平成18年3月31日で打ち切り決算となるため、平成18年度で水道事業会計へ全額を引き継いでいる。

③通年推計 (参考)

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	123,089,529	129,295,699	126,631,977	2,663,722	105.0	102.9
16年度	6,768,000	6,940,055	5,504,000	1,436,055	102.5	81.3
比較増減	116,321,529	122,355,644	121,127,977	1,227,667	2.5	21.6
増減率	1,718.7	1,763.0	2,200.7	85.5	—	—

④通年推計は、監査委員が独自に通年ベースの数値を推計したものである。

当年度の決算額は、歳入が129,295,699円、歳出が126,631,977円であり、歳入歳出差引額は2,663,722円となっている。前年度と比較して歳入で122,355,644円(1763.0%)の増、歳出で121,127,977円(2200.7%)の増となっている。この主な要因は、当年度で配水管のほか、機械・電気・計装設備の大幅な更新工事を実施したことによるものである。

2 予算の執行状況

ここでは、合併前・合併後に分離せず、通年ベースで推計した数値のみ記載している。
なお、予算現額は、別々に推計していることから歳入と歳出が一致しない場合がある。

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	6,624,110	6,663,046	6,532,444	0	130,602	98.0
国庫支出金	27,500,000	27,500,000	27,500,000	0	0	100.0
繰入金	1,327,200	1,327,200	1,327,200	0	0	100.0
繰越金	1,436,055	1,436,055	1,436,055	0	0	100.0
市債	92,500,000	92,500,000	92,500,000	0	0	100.0
歳入合計	129,387,365	129,426,301	129,295,699	0	130,602	99.9

使用料及び手数料はの収入済額は6,532,444円で、前年度と比較して1,071,008円(19.2%)の増となっている。この主な要因は、平成17年10月から料金を値上げしたことによるものである。

国庫支出金の収入済額は27,500,000円で、簡易水道等施設整備費補助金である。

繰入金の収入済額は1,327,200円で、この内容は、地方公営企業法適用経費及び消火栓新設に係る一般会計繰入金である。

繰越金の収入済額は1,436,055円で、前年度繰越金である。

市債の収入済額は92,500,000円で、簡易水道事業債である。

以上のうち、国庫支出金、繰入金、市債は、前年度実績がなく当年度新たに発生したもので、主な内容は、当年度実施された配水管及び機械・電気・計装更新工事の財源となったものである。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,999,972	1,995,172	0	4,800	99.8
給水費	124,142,342	123,454,375	0	687,967	99.4
公債費	1,183,215	1,182,430	0	785	99.9
予備費	1,814,000	0	0	1,814,000	0.0
歳出合計	129,139,529	126,631,977	0	2,507,552	98.1

総務費の支出済額は1,995,172円で、この主な内容は企業会計システム追加業務委託料等の一般管理費である。

給水費の支出済額は123,454,375円で、前年度と比較して120,418,004円の大幅増となっている。この主な内容は、配水管及び機械・電気・計装更新工事に要する費用である。

公債費の支出済額は1,182,430円で、前年度と同額である。

予備費の予算額は1,814,000円であるが、充用実績はなかった。

ガス事業清算特別会計

ガス事業清算特別会計は、合併前の能代市で設置されていた特別会計で、平成14年度で民間へ譲渡したガス事業で未回収となっているガス使用料の徴収・管理を行うため設置された特別会計である。未回収のガス使用料は、まだ残っているため、徴収等は今後も継続されるが、平成18年3月20日をもって特別会計を廃止しており、同日をもって打ち切り決算となっている。今後、徴収されるガス使用料については、一般会計の雑入へ入ることになる。

1 決算規模

①能代市

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	1,174,000	1,102,591	1,102,591	0	93.9	93.9
16年度	1,721,000	1,792,870	1,721,000	71,870	104.2	100.0
比較増減	-547,000	-690,279	-618,409	-71,870	-10.3	-6.1
増減率	-31.8	-38.5	-35.9	皆減	—	—

①能代市は、平成18年3月20日までの打ち切り決算である。

当年度の決算額は、歳入歳出同額の1,102,591円であり、前年度と比較して歳入は690,279円、(38.5%)、歳出は618,409円(35.9%)、それぞれ減となっている。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	1,103,000	4,869,723	1,030,721	0	3,839,002	21.2
繰越金	71,000	71,870	71,870	0	0	100.0
歳入合計	1,174,000	4,941,593	1,102,591	0	3,839,002	22.3

使用料及び手数料はの収入済額は1,030,721円で、前年度と比較して762,149円(42.5%)の減となっている。前述のとおり、ガス事業を民間へ譲渡する前に発生したガス使用料で、未回収となっているものについて徴収を継続しており、年々残額が少なくなることから、収入済額も減少する傾向にある。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
諸支出金	1,174,000	1,102,591	0	71,409	93.9

諸支出金の支出済額は1,102,591円で、前年度と比較して618,409円(35.9%)の減となっている。これは、徴収したガス使用料を一般会計へ繰り出すためのものである。

土地取得特別会計

土地取得特別会計は、合併前の二ツ井町で設置されていた特別会計で、公有地の先行取得を目的に土地開発基金の資金運用のため設置されたものであるが、平成18年3月20日をもって特別会計が廃止され、同日をもって打ち切り決算となっている。

1 決算規模

①二ツ井町

(単位：円、%)

区 分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
17年度	896,000	895,112	895,092	20	99.9	99.9
16年度	943,000	941,657	941,657	0	99.9	99.9
比較増減	-47,000	-46,545	-46,565	20	0.0	0.0
増減率	-5.0	-4.9	-4.9	皆増	—	—

①二ツ井町は、平成18年3月20日までの打ち切り決算である。

当年度の決算額は、歳入895,112円、歳出895,092円、歳入歳出差引額20円であり、前年度と比較して歳入は46,545円、歳出は46,565円それぞれ減となっている。歳入歳出差引額20円は、新市の一般会計の歳入に歳計剰余金として引き継がれている。

2 予算の執行状況

①歳入

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財 産 収 入	896,000	895,112	895,112	0	0	100.0

財産収入の収入済額は895,112円で、土地開発基金運用収入である。

②歳出

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総 務 費	896,000	895,092	0	908	99.9

総務費の支出済額は895,092円で、土地開発基金への積立金である。